

林 尚輝¹: 報告—第49回日本植生史学会談話会

Naoki Hayashi¹: Report—The 49th forum of the Japanese Association of Historical Botany

2021年12月18日(土)に第49回日本植生史学会談話会「オンライン花粉化石勉強会」が林竜馬氏(滋賀県立琵琶湖博物館), 藤木利之氏(岡山理科大学), 安藤卓人氏(島根大学エスチュアリー研究センター), 佐々木尚子氏(京都府立大学)を講師として開催された。参加者は約60人で, 日本植生史学会だけでなく, 花粉学会, 地球環境史学会, 日本第四紀学会など様々な学会に所属する方々が参加されており(図1), 花粉分析への関心の高さがうかがえた。また, 私にとっては日本植生史学会ではあまりお会いすることがない方を知る良い機会にもなった。

当日はまず林氏から挨拶と趣旨説明があり, その後, 初級編, 中級編, 上級編として各先生から顕微鏡画像のライブ配信やスライドでの説明があった。

林氏と佐々木氏からは花粉の現生標本の顕微鏡画像をオンラインで共有していただき, 主要な種の花粉の同定ポイントを教えていただいた。共有された画像は光学顕微鏡像を, 顕微鏡ビデオカメラを介してパソコンからZoomで配信されたものでとても鮮明に花粉を見ることができた(図2)。顕微鏡を見て説明を受けるのとは異なり, 同定の際に

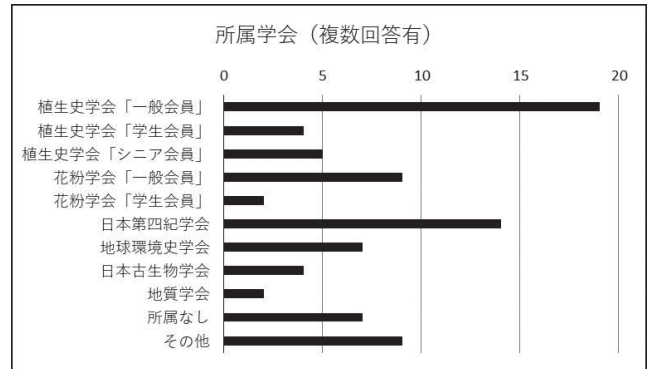


図1 第49回談話会参加者の所属学会。

注目すべき箇所が明確で非常に分かりやすかった。前回の談話会(大型植物化石の同定会)の時も感じたが, 顕微鏡像をパソコンの画面全体で大きくみられることはオンライン開催の大きなメリットであると思う。

藤木氏からは花粉の形態についての基本的なポイントや分析するコアの採取の様子, 花粉の抽出手法など花粉分析に関わる全般的な話と様々な花粉の電子顕微鏡写真を示

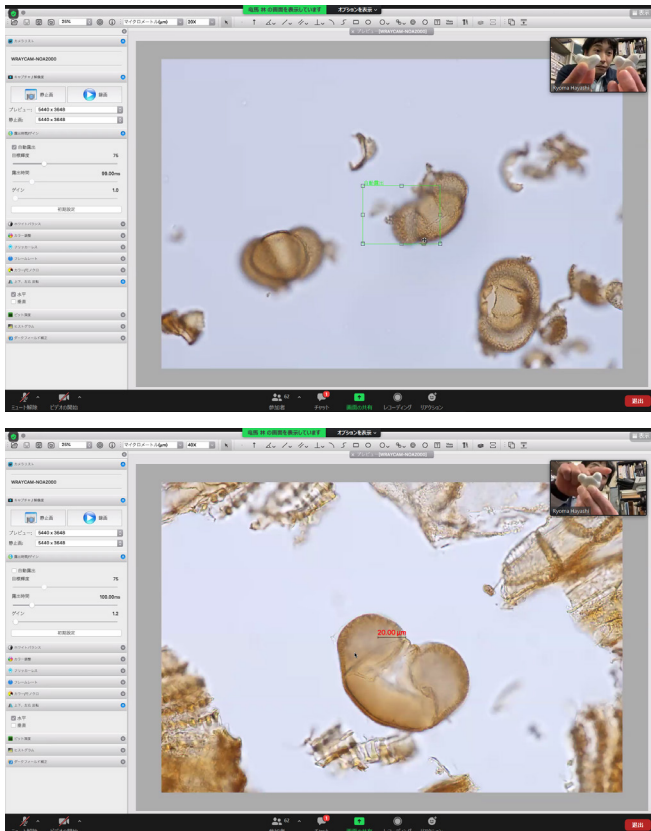
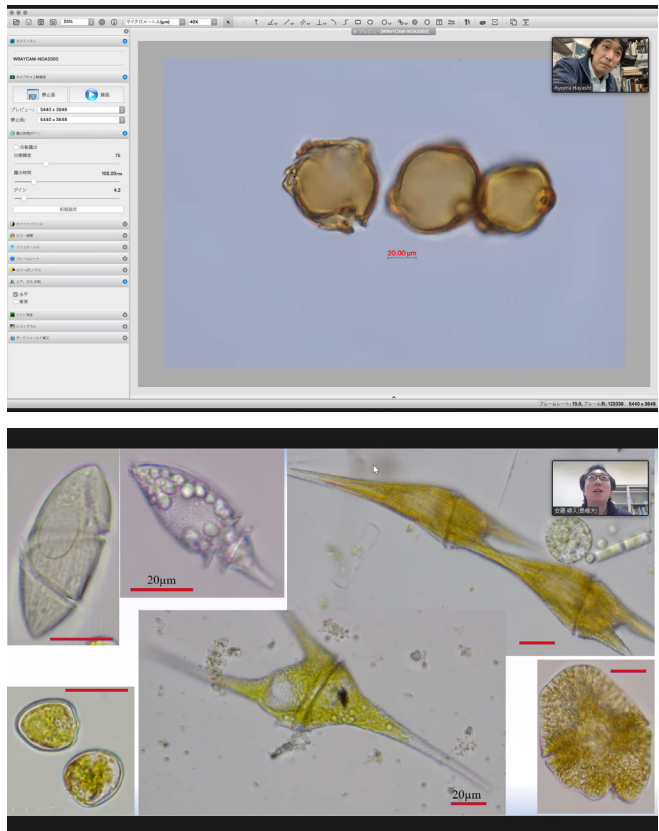


図2 第49回談話会のスクリーンショット。



していただいた。私を含め、花粉分析の初心者には非常に勉強になったと思う。また、堆積物中の化石花粉を多数見せていただいた。日本の堆積物中ではほとんどみられない亜熱帯～熱帯域の植物の花粉も多く、非常に興味深かった。堆積物中の化石花粉はきれいな形で見られることは少ないらしく、やはり堆積物中の微化石の同定は一筋縄にはいかないと思った。

安藤氏からは渦鞭毛藻のシストなど花粉以外のパリノモルフについて紹介いただいた。様々なパリノモルフの写真を交えて説明いただき、多くの参加者にとって非常に新鮮な話であったと思う。堆積物試料の花粉スライドによく含まれているようで、多くの受講者にとって、検鏡時に花粉以外のものにも注目するよい機会になったのではないかと思う。私もこれをきっかけに普段、計数している微化石以外も気かけたいと思った。

最後には、希少な花粉や事前に募集されていた質問についてのディスカッションもあり、初心者から専門家まで有意義な勉強会であったと思う。勉強会は13:30～17:00の予定であったが、各議論が白熱し、18:00まで続く盛り上がり様であった。非常にボリュームのある内容で、これだけの長時間の会であったが、個々の花粉やパリノモルフについて話す時間がやや短かったことだけが残念であった。ぜひ第二回を開催していただきたいと思う。

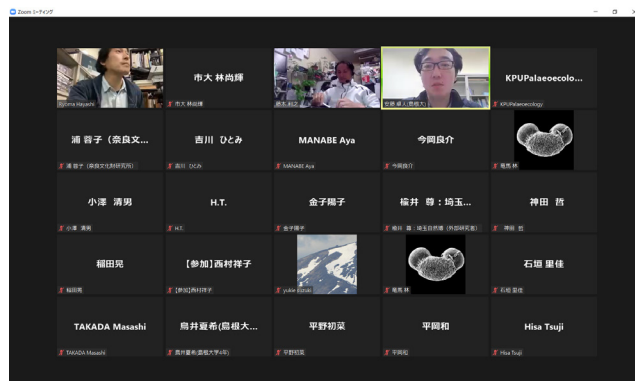


図3 第49回談話会の講師と参加者。

最後になりましたが、このような魅力的な談話会を企画・運営いただいた行事委員の皆様と講師の先生方に深く感謝申し上げます。

(¹ 〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138 大阪市立大学大学院理学研究科
Graduate School of Science, Faculty of Science, Osaka City University, Sugimoto 3-3-138, Sumiyoshi-ku, Osaka 558-8585, Japan)